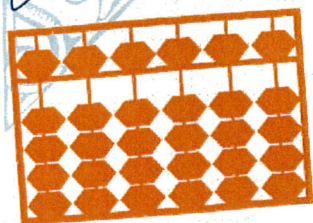


# チーム東高で勝ち取る 珠算選手権大会 3人で優勝



▶左からチーム東高として出場し、優勝した森君、高宮君、土田さん



森悠真君

高宮琢磨君

土田真央さん



速報新聞

## キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部  
彦根市金亀町4番7号

12月10日に行われた滋賀県珠算選手権大会団体の部に土田真央さん(1-1-1)、高宮琢磨君(1-1-5)、森悠真君(1-1-8)が出場し、優勝を果たした。また個人の高校・一般の部でも高宮君が優勝を掴んだ。

団体の部は珠算検定1級相当の掛け算・割り算・みとり問題を3分間で15問と、応用問題を4分間で15問の合計30問を選手たちが解き、600点満点で最も合計点が高かったグループが優勝となる。個人の部では暗算の問題を種目に1分ずつ20問を解き、より多くの問題を正解した人が優勝となる。

土田さんは大会の感想を「県大会には何回も出場していて場馴れしていたこともあり、あまり緊張はしなかった。でもその一方で、去年の先輩方が優勝していたためプレッシャーは感じていた。優勝できてうれしかった」と振り返った。高宮君は「チームのために最初からハイペースで解いた。チーム東高で出場し、大きな優勝トロフィーや賞状がもらえてよかった」と話した。

森君は「練習ではあまり調子が良くなかった。しかし本番では優勝することができてうれしかった」と喜びをあらわにした。

土田さんは練習期間中の活動を「8割は正解できるような真剣に練習に取り組んできた。しかし問題が去年よりも難しかったので点数が下がってしまった」と振り返った。

高宮君は「ひたすら問題を解くしか練習方法がなかったの。調子が良いとき以外は楽しいと感じられなかった。ただ大会で良い結果を取れたときは『やってきてよかった』と思えた」と打ち明けた。森君は「そろばんを練習するのは1年ぶりだった。自主的に出る大会だったので、なるべく楽しく練習ができるようにしていた」と練習で心がけていたことを明かした。

また個人の部でも優勝した高宮君は「自分と同点の人がもう一人いたので、同点決勝になった。相手が強い人だと知っていたが『やるだけやってみよう』と思い、とにかくたくさんの問題を解いた。自分の持てる力を最大限に出し切ることができ、それが良い結果につながってよかった」と微笑んだ。